

## <ポイント版> ぎふ経済レポート（令和4年4月分）

### 【製造業】

○製造業は、2月の鉱工業生産指数は前月比▲1.2%と僅かに低下。ヒアリングでは、原油価格高騰と円安の影響で、材料価格が過去にないほど急上昇しているという声や、供給制約について、電気部品関係だけでなく、樹脂や油関係の材料が入りにくくなっているという声、更にはトヨタの減産の影響で受注状況が悪化しており、4～6月の内示段階において、減産の動きがあるとの声が聞かれた。

### 【地場産業】

○地場産業は、2月の鉱工業生産指数は、食料品及び木材・木製品以外で減少した。ヒアリングでは、売上は前年比100%を超えているものの、ガスの値段が前年比2倍になっているという声や、原材料の値上がりに伴い、値上げを予定しているという声が聞かれた。

### 【設備投資】

○設備投資は、3月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比で30.0%増加した。ヒアリングでは、補助金を利用し機械導入を行ったことで、人力から機械へ変わり、生産効率が向上したという声や、電気代が高騰していることや、カーボンニュートラルへの取り組みを推進していくために、太陽光発電設備の導入を検討しているという声、中堅企業では、蓄電池の開発やエネルギー開発のための設備更新があるという声が聞かれたものの、全体的に設備投資が活発ではないとの声が聞かれた。

### 【個人消費】

○個人消費は、3月の販売額は、家電大型専門店以外で増加し、全体で僅かながら増加した。ヒアリングでは、原材料価格高騰のため、客の買い物点数が減少しているという声や、一部メーカーで価格転嫁が始まり、販売価格が上昇する商品がでてきたとの声が聞かれた。

### 【観光】

○観光は、3月の観光客数、宿泊者数ともにコロナ前の令和元年同月比を大きく下回っている。宿泊施設からのヒアリングでは、まん延防止の解除や県民割の影響により予約が少しずつ増えてきたという声が聞かれた一方で、原材料の高騰があるが、値上げするのは難しいとの声も聞かれた。

### 【資金繰り】

○企業の資金繰りは、3月の制度融資実績は、件数、金額ともに11ヶ月連続で前年同月比で減少した。金融機関からは、ゼロゼロ融資から一服し、融資には慎重であるという声が聞かれた一方で、EVシフトへの対応等のための設備投資を行う企業も出てきているとの声が聞かれた。

### 【雇用】

○雇用面は、3月の有効求人倍率は1.58倍と7ヶ月連続で1.50倍を超えた。ヒアリングでは、中期的な事業拡大が見込まれており、製造管理者や現場作業者を多数募集しているという声が聞かれた一方で、既卒者の採用ができれば良いが、今後の売上見込みとの費用対効果を考慮すると躊躇してしまうとの声が聞かれた。

### 【景気動向】

2月の景気動向指数（一致指数）は前月比で▲1.6ポイント低下し、3月の中小企業の景況感は同比で6ポイント上昇した。